

第62回

福岡県公民館大会

平成29年8月10日(木)

— サザンクス筑後 —

久富観音堂
盆綱曳き



主催 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会



目次



第62回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶	1
第62回福岡県公民館大会 開催要項	2
平成29年度公民館役職員表彰一覧	4
講演	8
インタビュー・ダイアログ	22
福岡県公民館大会年表	24

久富観音堂 盆綱曳き

8月14日の盂蘭盆^{うらぼん}に行われる「施餓鬼^{せがき}」行事で、地区の小学生男児が全身をかまどのススで真っ黒に塗り、腰にはわらみの、頭には角に見立てた縄を巻いて鬼に変身します。長さ20m、重さ400kgの綱を曳いて、天神神社まで約3キロメートルの道のりを練り歩きます。(400年近い歴史があります。)

HAWKS ベースボール パーク筑後

福岡ソフトバンクホークスの2軍・3軍（ファーム）の本拠地となる「HAWKSベースボールパーク筑後」が、平成28年3月、筑後市に開業しました。メインスタジアム「タマホームスタジアム」と、サブスタジアム、屋内練習場、クラブハウス、選手寮などの施設を備え、若手選手の育成・強化を図っています。ホークス選手のプレーを間近に見ることができると好評です。

恋の木神社 (縁結びの神様)

恋の木神社は水田天満宮の末社として建立当時より鎮座し、御祭神に「恋命(こいのみこと)」を祀る神社は全国でもここだけです。御祭神の「恋命」は、菅原道真公が都に残してきた天皇・妻子を思う御心を祀ったものであるといわれ、現在では、良縁成就の神様・幸福の神様として、若者たちに恋愛成就・良縁祈願で篤く信仰されています。

船小屋鉱泉場

レトロな建物の「船小屋鉱泉場」の豊富な炭酸泉は、「砂糖を入れたらラムネになる」と言われるほど。また鉄分が多いのも特徴の一つです。この鉱泉は炭酸ガスの圧力で自噴している珍しいものです。鉱泉場にはコップが置いてあり、誰でも無料で自由に飲むことができます。少々飲みにくい味ですが、胃腸病などに効果があると言われています。県外からも大勢の人たちが飲泉^{いんせん}に訪れます。

第62回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶



福岡県公民館連合会

会長 中嶋 裕史

県内各地から、公民館に関わっておられます皆様の御参加をいただき、ここ筑後市におきまして、第62回福岡県公民館大会が盛大に開催されますことをたいへん嬉しく思っております。

また、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった方々に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰をさせていただきます。表彰を受けられます皆様には、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、近年、都市化・過疎化の進行や家族形態の変容などによる地域社会の絆の希薄化をはじめとした多くの課題が顕在化しています。また、高齢化の進展に伴い、平均寿命とともに健康寿命の伸長を図ることがますます重要となっており、そのためには、高齢者の運動機会や栄養に関する学びの場の確保とともに、社会参加の重要性が指摘されています。

今後、公民館等には、「まなぶ」「つどう」「むすぶ」という機能を生かし、地域住民が地域コミュニティの将来像や在り方を共有する場を設けることが、ますます求められると考えます。そして、住民が地域課題とその対応について学習でき、その成果を地域づくりの実践につなげることで、持続可能な地域づくりに貢献することが期待されています。

本大会は、こうした視点を踏まえて、テーマを「公民館が核となった人づくり・地域づくりの可能性を求めて」とし、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授の天野和彦様に「この時代が、公民館に求めていること ～持続可能なふるさとをつくるために～」と題した御講演をお願いしております。午後からのインタビュー・ダイアログでは、「持続可能な地域づくり・人づくりに向けた公民館の可能性は？」をテーマに、協議を深めてまいりたいと考えております。

皆様方にとりまして、本大会を公民館実践交流会への指針としていただくとともに、実り多き大会となりますことを心から願う次第です。

おわりに、本大会の開催に当たり、準備から運営に至るまで多大なる御支援を賜りました地元筑後市をはじめ、南筑後地区の皆様、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、御参加いただいた皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。

平成29年8月10日



第62回 福岡県公民館大会開催要項

※公民館（市民センター・コミュニティセンター等を含む。）

- 1 趣 旨**

近年、少子・高齢化、高度情報化、都市化・過疎化の進行、生活様式や価値観の多様化等、社会情勢が急激に変化しています。その結果、地域の担い手不足や人間関係の希薄化などが懸念され、いかにして持続可能で活力ある社会を構築していくかが問われています。

本大会は、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者が一堂に会し、県内外の実践の紹介や協議をとおして、ともに学び合い、公民館の機能と果たすべき役割を再認識し、取組への意欲を向上させるとともに、今後の公民館等の活動を一層充実させることをめざします。
- 2 大会テーマ**

「公民館が核となった人づくり・まちづくりの可能性を求めて」
- 3 主 催**

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 共 催**

筑後市教育委員会
- 5 後 援**

福岡県、筑後市、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県青少年問題協議会、福岡県PTA連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 6 期 日**

平成29年8月10日（木）
- 7 会 場**

サザンクス筑後
〒833-0047 福岡県筑後市若菜1104
TEL 0942-54-1200

- 8 参加者** 約1,000名
 公民館等職員、公民館運営審議会委員、自治（町内）公民館等関係者、コミュニティ施設関係者、社会教育委員、学校教育関係者、生涯学習・社会教育関係者、社会教育関係団体 等
- 9 日 程**
- 9：30～ 受 付
- 10：15～ 大会式典・表彰式
- 11：00～ 講 演
 「この時代が、公民館に求めていること」
 ～持続可能なふるさとをつくるために～
 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授
 天野 和彦 氏
- 12：10～ 昼 食
- 13：15～ インタビュー・ダイアローグ
 テーマ「持続可能な地域づくり・
 人づくりに向けた公民館の可能性は？」
【コーディネーター】
 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授
 天野 和彦 氏
【登壇者】
 大牟田市市民協働部生涯学習課 主査 前原 雄樹 氏
 柳川市立垂見校区公民館 館長 川口 千利 氏
 宗像市吉武地区コミュニティ運営協議会 事務局長
 高山 國敏 氏
- 15：00 閉 会



福岡県公民館連合会表彰



平成29年度公民館役職員表彰

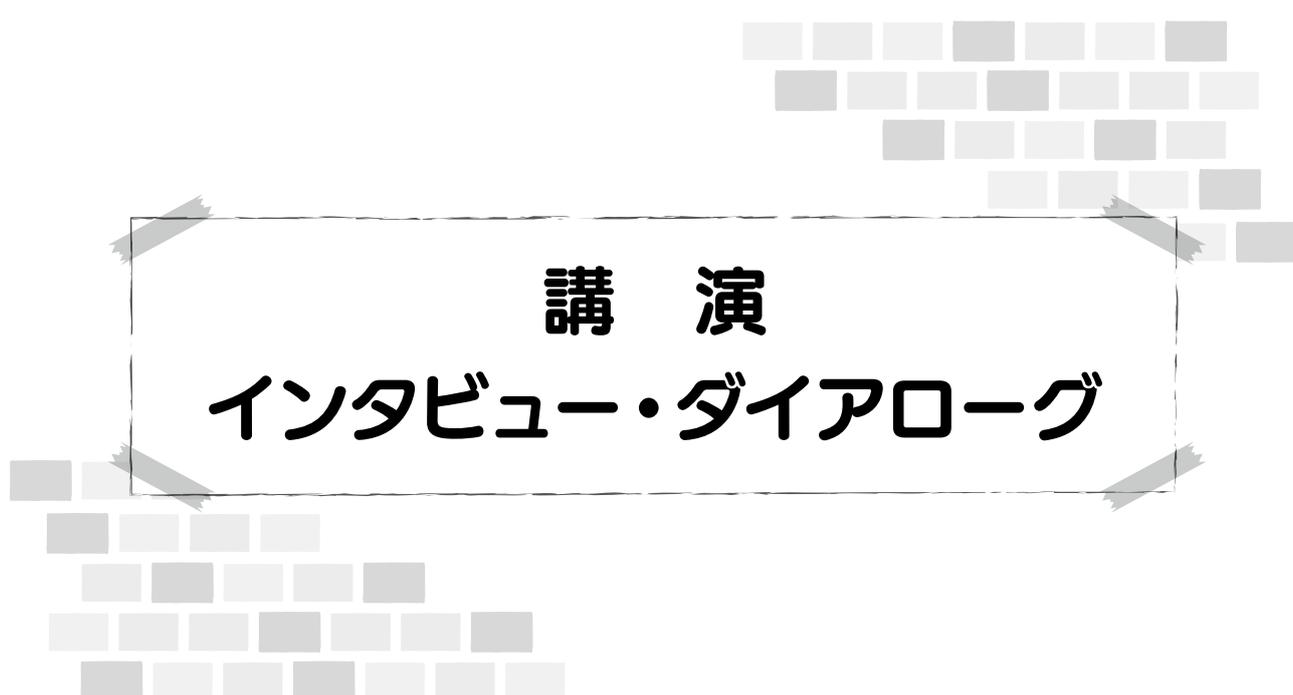
平成29年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役員）

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績
公立 公民館	1	福岡市	ご とう りゅう すけ 後 藤 隆 祐	ひらき とう とう 東区 志 賀 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【団体育成・サークル活動】 志賀島の生涯学習や地域コミュニティ活動、人権教育にも積極的に取り組み、地域の課題解決に向けた事業にも取り組むなど、団体育成・サークル活動に貢献した。
	2		おお とう じゅん こ 大 当 淳 子	ひらき とう とう 東区 照 葉 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【団体育成・サークル活動】 ボランティアや地域指導者の育成とともに、各サークル活動の交流を目的とした文化祭を展開するなど、団体育成・サークル活動に貢献した。
	3		はな だ けん じ 花 田 健 司	ひらき とう とう 東区 東 箱 崎 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 校区のまちづくりや地域の活性化に努めるとともに、多くの外国人が居住する地域性を踏まえた交流・支援活動にも熱心に取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	4		しの はら ちか 子 篠 原 誓 子	はか たく とう 博多区 席 田 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【地域づくり】 公民館事業を積極的に取り組み、公民館事業の実施・運営に尽力するとともに、自治協議会や各種団体・サークル活動について助言や指導を行うなど、地域づくりに貢献した。
	5		なみ ぬき もり 南 幸 盛	ちゅうおう ぐ 中央区 警 固 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【青少年教育】 若い人や子どもたちが集まりやすい曜日や時間を考慮しながら、多彩な事業を実施するとともに、多くの人が公民館に集い、学びを経験できるなど、青少年教育に貢献した。
	6		もろ ふじ きょう 子 諸 藤 京 子	ちゅうおう ぐ 中央区 高 宮 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【ボランティア活動】 地域住民の地域活動への参加意欲を喚起するために、校区内の人材発掘を積極的に進め、活躍できる仕組みづくりを整えるなど、ボランティア活動の推進に貢献した。
	7		つね まつ とし お 恒 松 敏 夫	みなみ ぐ 南区 西 花 畑 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【公民館施設の管理・運営】 自治協議会と連携し、各種団体の活動支援に取り組み、地域の活性化に寄与するとともに、公民館ブログを開設し公民館や校区の活動や情報をタイムリーに発信するなど、公民館施設の管理・運営に貢献した。
	8		こ とう ひ と み 古 藤 ひとみ	みなみ ぐ 南区 鶴 田 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【地域づくり】 地域の課題解決に向けた各種事業を企画・実施するとともに、円滑な地域コミュニティづくりに向けて地域団体に助言を行うなど、地域づくりに貢献した。
	9		なか むら きょう 子 中 村 恭 子	じょうなん ぐ 城南区 別 府 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【地域づくり】 校区住民の宝を活用した新しい企画を実施するとともに、大学と連携して校区の郷土史保存を行う仕組みをつくるなど、地域づくりに貢献した。
	10		しも だ のり 子 下 田 則 子	さわら ぐ 早良区 小 田 部 公 民 館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 子どもの人材育成や高齢者向けの出前講座など、地域の特性にあった事業を企画・実施するとともに、各種団体とのパイプ役をするなど、地域づくりに貢献した。
	11		かね が え ふさ よ 鐘 ケ 江 房 代	にしき ぐ 西区 金 武 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【地域づくり】 高齢化問題や子どもの健全育成事業に取り組むとともに、地域住民とのコミュニケーションを密にし、情報収集しながら、ニーズに合った企画・運営に尽力するなど、地域づくりに貢献した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績
公立 公民館	12	福岡市	なかしま れい こ 中 島 令 子	にしく 西区 いま じゆく こう ぶん かん 今 宿 公 民 館	しゅ じ 主 事	【地域づくり】 市民が気軽に集える公民館を目指し、各種団体と連携し高齢化問題や子どもの育成事業に積極的に取り組むとともに、地域カフェを定期的に開催するなど、地域づくりに貢献した。
	13		たなか さゆり 田 中 さ ゆ り	にしく 西区 めい ぼく こう ぶん かん 姪 北 公 民 館	しゅ じ 主 事	【地域づくり】 社会教育や地域コミュニティ活動の支援に熱意を持って取り組むとともに、公民館の主催事業では各種団体と連携し子ども育成事業を行うなど、地域づくりに貢献した。
	14	古賀市	いん どう ゆう こ 引 頭 裕 子	公民館運営 審議会	い 員 委員	【公民館施設の管理・運営】 社会教育の振興に寄与するとともに、古賀市生涯学習センター建設時において利用者目線での討議を行い、施設の改善を図るなど、公民館施設の管理・運営に貢献した。
	15		よし の こう ぞう 吉 野 耕 造	公民館運営 審議会	い 員 委員	【公民館施設の管理・運営】 社会教育の振興に寄与するとともに、古賀市生涯学習センター建設時において利用者目線での討議を行い、施設の改善を図るなど、公民館施設の管理・運営に貢献した。
	16	柳川市	え さき かつ き 江 崎 勝 規	やながわ し 柳川市 ろくごう けいこう ぶん かん 六合校区公民館	かん ちゆう 館 長	【地域づくり】 公民館活動先進地の視察研修を行い、指導者の育成を推進するとともに、公民館の機構改革にも取り組み、世代間交流の促進、青少年健全育成の推進をするなど、地域づくりに貢献した。
	17	八女市	やめ し 八女市 たち ばな こう ぶん かん 立 花 公 民 館	かん ちゆう 館 長	【学社連携・融合】 教職員時代の経験を生かし、子どもの体験活動の充実に向けた仕組みづくりを行うとともに、地元の高校と連携して、地域で活躍する人材グループを育てるなど、学社連携・融合に貢献した。	
	自治 (町内) 公民館	1	北九州市	とり やま まさ ひろ 鳥 山 雅 弘	も じく 門司区 にしき まち こう ぶん かん 錦町校区公民館	かん ちゆう 館 長
2		さか い みつ ひこ 坂 井 三 彦		こくらきたく 小倉北区 なが はますえ ひろ 長 浜 末 広 公 民 館	かん ちゆう 館 長	【地域づくり】 地域と協力しながら健康事業、文化事業を積極的に行うとともに、地域の様々な異年齢が交流できる事業の企画・運営、生涯学習の普及活動など、地域づくりに貢献した。
3		みぞ た ゆき お 溝 田 幸 男		やはたにしく 八幡西区 とり の こう ぶん かん 鳥 野 公 民 館	かん ちゆう 館 長	【地域づくり】 「鳥野卓球クラブ」「前田第三老人連合会」等の立上げや運営を行うとともに、地域の各種団体と連携しながら、多くの人が利用できるよう積極的に働きかけるなど、地域づくりに貢献した。
4		す さき むね 周 崎 稔		やはたにしく 八幡西区 まち こうじやく こう ぶん かん 町 上 津 役 公 民 館	かん ちゆう 館 長	【地域づくり】 新規事業の立上げや既存事業の見直しをするとともに、公民館の加入者の増加を図るため自治会とタイアップし、PR誌の発行やイベントの開催を行うなど地域づくりに貢献した。
5		いけ ま しげる 池 間 茂		やはたにしく 八幡西区 あさかわ ひ みね こう ぶん かん 浅川日の峯公民館	かん ちゆう 館 長	【地域づくり】 地域の活性化のために夏越祭りや初日の出登山などの行事を実施するとともに、子ども会が解散したあとも、行事の内容に工夫を凝らすなど、地域づくりに貢献した。
6		筑紫野市	うえ き ど すみ え 上 木 戸 澄 枝	ちくしのし 筑紫野市 きやう まち こう ぶん かん 京 町 公 民 館	しゅ じ 主 事	【高齢者教育】 独居高齢者の見守り活動やサロン活動を継続的に実施するとともに、女性部の活動を通じて女性の地位向上に積極的に取り組むなど、高齢者教育に貢献した。
7		大川市	ふく しま てる お 福 島 照 雄	おおかわ し 大川市 かね が え こう ぶん かん 鐘 ヶ 江 公 民 館	かん ちゆう 館 長	【地域づくり】 各種事業を統括し、コミュニティ協議会と連携しながら様々な活動に取り組むとともに、校区住民の融和を図り、クリーク清掃を実施し環境美化に努めるなど、地域づくりに尽力した。
8		筑後市	わた なべ こう すけ 渡 邊 洪 亮	ちくご し 筑後市 にし ち た こう ぶん かん 西 牟 田 校 区 公 民 館	かん ちゆう 館 長	【地域づくり】 中央公民館と7自治公民館との連絡調整を図るとともに、運動会等とおした地域と学校、地域と地域の活発な交流事業や高齢者の生きがいづくりなど、地域づくりに貢献した。



種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績	
自治 (町内) 公民館	9	筑後市	あい うら りょう いち 相 浦 涼 一	ちくごし 筑後市 とく ひさ こう ぶん かん 徳 久 公 民 館	かん 館	ちよう 長	【地域づくり】 ちっご「ふれあいの里づくり」事業を展開するとともに、地域・子ども・高齢者の交流の場を具体化し、計20の公民館行事を実施・計画するなど、地域づくりに貢献した。
	10		にし むら とし ひこ 西 村 利 彦	ちくごし 筑後市 は いぬ づか こう ぶん かん 羽 犬 塚 公 民 館	かん 館	ちよう 長	【地域づくり】 講座や行事等、地域の方が楽しむことができるよう常に思考を凝らしながら実施するとともに、地域の活性化のために防犯活動や高齢者福祉事業に取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	11	八女市	いま さと てつ ひろ 今 里 哲 博	や め し 八女市 かみい なとみ じ ち こう ぶん かん 上 稲 富 自 治 公 民 館	かん 館	ちよう 長	【地域づくり】 地区内の公民館の連携を図る組織づくりに努め、「土橋八幡宮神幸行事」や町内のイベントを開催し活性化を図るとともに、他市町村の自治公民館の視察研修を実施し、事業の企画・運営に生かすなど地域づくりに貢献した。
	12	飯塚市	にっ た ひで お 新 田 秀 雄	いづかし 飯塚市 あみ お に く し ち こう ぶん かん 南 尾 二 区 自 治 公 民 館	かん 館	ちよう 長	【地域づくり】 地域住民の交流の促進や地域の活性化に努めるとともに、子どもから高齢者まで、様々な学習の場を設け、郷土愛の育成や生涯学習の普及に尽力するなど、地域づくりに貢献した。
	13		こ むら よし たか 小 村 義 高	いづかし 飯塚市 むく もと じ ち こう ぶん かん 椋 本 自 治 公 民 館	かん 館	ちよう 長	【地域づくり】 地域行事の開催の先頭に立ち、各種事業の実施において地域振興や活性化を図るとともに、地域の文化の向上と維持発展に尽力するなど、地域づくりに貢献した。



講演
インタビュー・ダイアログ



講演

「この時代が、公民館に 求めていること」

～持続可能なふるさとをつくるために～



福島大学うつくしまふくしま
未来支援センター

特任教授 **天野 和彦** 氏

プロフィール

福島県会津若松市出身。福島大学大学院地域政策科学研究科修了。

平成9年、大玉村教育委員会に、県派遣社会教育主事として配属され、生涯学習総合振興計画の策定など生涯学習の推進と青年教育を中心に実践。

平成23年3月に発生した東日本大震災においては、2,500名を超える被災者を抱え、県内最大規模といわれた「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として常駐し、運営に携わる。

平成24年4月から福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授として、平成29年から現職として被災者の生活支援やコミュニティ形成、要援護者サポート、ボランティア組織の連携などの調査・研究や現場での支援にあたっている。

主な活動歴

- 学会 日本災害復興学会、日本社会教育学会、日本教育学会、日本公民館学会
- 委員等 避難所における良好な生活環境の確保に関する検討会「福祉避難所」WG委員（内閣府：2015）等

主な著書

- ・福島大学の支援知をもとにしたテキスト災害復興支援学（2014：八朔社）
- ・生涯学習政策研究－生涯学習をとらえなおす 市民協働による教育行政（2013：悠光堂）

福岡県公民館大会

この時代が、公民館に求めていること
～持続可能なふるさとをつくるために～

福岡大学つくしまふくしま未来支援センター
天野 和彦

FURE つくしまふくしま未来支援センター
Fukuoka Future Center for Regional Revitalization

同志のみなさんに関する一公民館の詩（作者不詳）

雨ニモマケズ
風ニモマケズ
雷ニモ震ノ塵サニモマケズ
又矣ナ カラダヲモテ
年ガラ年ジュウ 仕事ニオフレ
生涯学習トイフ
ウケノワカラナイ 仕事ヲ
シブクニ 笑顔ヲ ヤツチイル
ジブンヲ カンシヨウニ イレス
ヒトノ体ンデイルトキニ 出カケ
垂ヤ 子供ヲ手トモ アソバズ
月曜日ニ ヒトリカビシク ヤスム
飯糰カラ ハミテワ テラキノカラスミテ
果ニ 老人会アレバ
行ッテ 愛付ラシテ
ナガイキヲ シナサイトハヴマス
西ニ 隣人ノツトイアレバ
行ッテ オ茶ヲクミ
カアチヤンガタノ グチヲキイチヤル
雨ニ スガーツ敵軍ガアレバ
行ッテ 箱ヲイヂヤリ
カラダニ イイコトダト トモニ汗ヲナガス
北ニ 吾輩ノ ツトイアレバ
行ッテ 人生論ヲ カタリ
キミヲチニハ 夢ガアルヨト オシエル
夜ノツトメニハ カップラーメンヲタベ
早出ノトキハ ヒトリテ 漢リモノヲタベル
ミンナニ 教習ノシゴトダト イワレ
ホメラレモセズ
クニモサレズ
メダチモシナイ
ソワイウ モノニ
ワガシハ ナリタイ

東日本大震災・ふくしまの状況から
社会教育とのつながり

福島第一原子力発電所事故



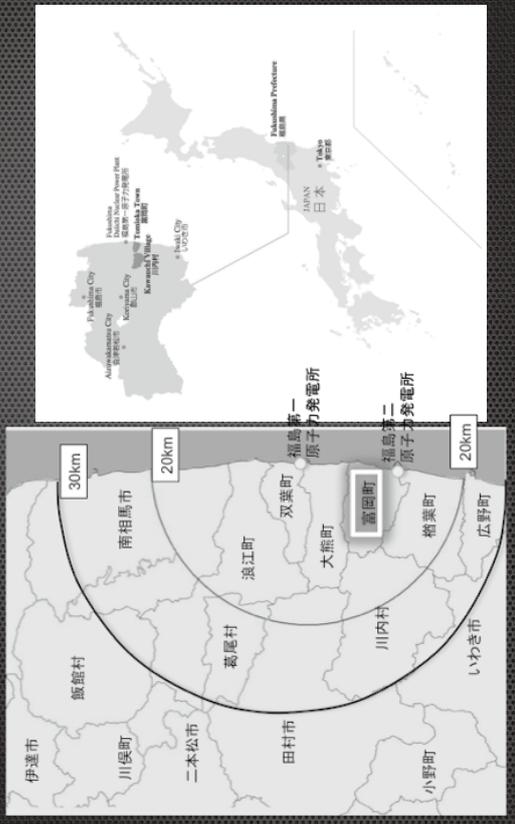
2011年3月18日：東京電力福島第一原子力発電所の衛星写真（午前11時20分撮影） © DigitalGlobe



◆ある新聞記事から



地図で確認しましょう



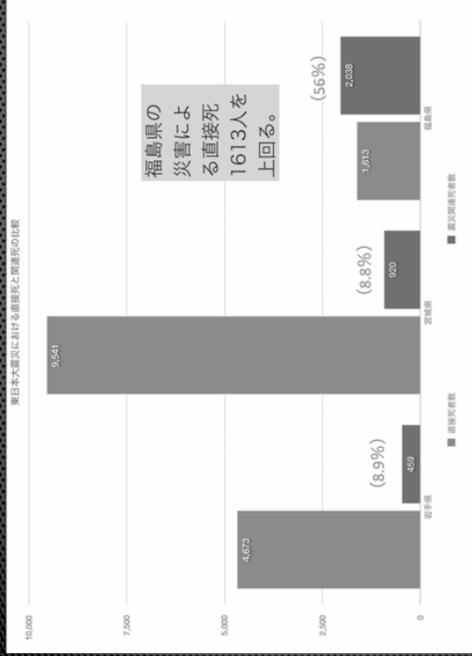
◆ある新聞記事から



震災関連死

H28.3.31 現3472人

死者の約9割は66歳以上の高齢者



※グラフ内の%は死亡者総数に対して震災関連死の割合を表す

資料: 福島県庁、福島県民生活センター、福島県防災センター

□ 福島県の二重のくびき

- 地震, 津波
- 原子力災害

※被災地に住むことができない
避難解除になった自治体のいま…

ある番組で報道された、川内村に帰村した若い夫婦のこと



心の復興、人間の復興

想像力ということ

想像力ということ…見方を変えるということ

想像力ということ…見方を変えるということ





生活復興の拠点 おだがいさまセンターの取り組み



仮設、借り上げ、県外避難者の
生活復興の拠点



地域コミュニティとは何か？

地域+コミュニティ=
エリア(場所)+人との結びつき

絆 … わずらわしさ
本当の意味での絆を取り戻す闘い

■ 生命を守るためには自治活動だ！ ・・・ 阪神と中越から学ぶ

- ・ 阪神・淡路の震災時になぜ仮設住宅で多くの孤独死が生まれたか
- ※ 交流の場の提供と自治活動の促進
- ・ そんなの効果あるの？ーサロン（喫茶スペース）と足湯の設置

■ 足湯の活動



■ サロンの活動



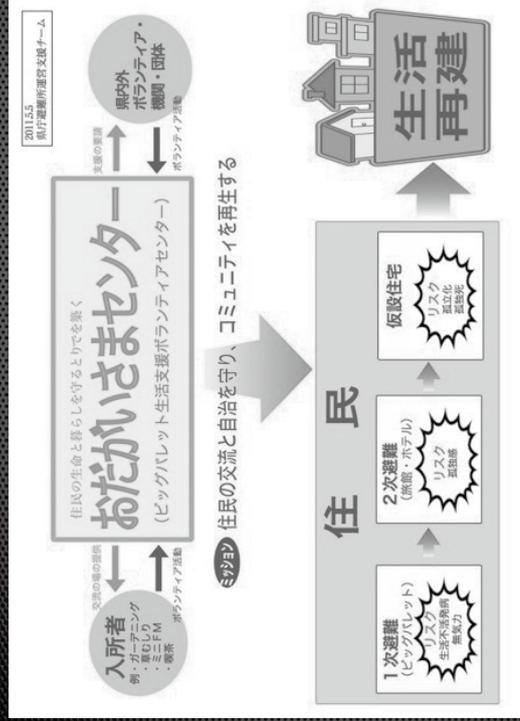
■ 大切なのは「自治」
でも、どうしたらいいのか？
足湯とサロンから生まれた交流



交流と自治を保障し続けていくために…
おだがいさまセンターの開所



■ おだがいさまセンターの組織図 (初期)





被災地・福島の状況

コミュニティが崩壊してしまった地域があるということ
 = 人がバラバラになっているということ
 = 寂しいと人は死ぬ
 さみしくさせないために、交流と自治が大切

全国でも同じ課題がある！

人と人がつながるしくみを！

■ブラジル各県人会



都市部における結びつき

■避難所（地域）におけるコミュニティ形成

- ・「交流」の場の提供と「自治」活動の促進
- ・「生命を守る」活動と「生きがいと居場所づくり」の活動

住民間のつながる力



コミュニティ意識の醸成

■ 災害とは何か・・・

- ▲ 災害に強いまち
 - ・・・ふだん準備している以上のことはできない
 - ・・・それまでの地域課題が顕在化するんだ
 - ・・・人と人がつながっているまち
- 防災のまちづくりは必要ない？
- ▲ 復興とは何か・・・社会の持つ脆弱性の克服
 - 社会変革



■ 公民とはなにをさすか？

公民館の生みの親・寺中作雄の解釈

公民館でいう「公民」とは、単に選挙資格を持っている人とか、市町村に住んでいる住民という意味ではない。自己と社会との関係についての正しい自覚を持ち、自己の人間としての価値を重んずるとともに、一身の利害を超越して、相互の助け合いによって公共社会の完成のために尽くすような人格を持った人、またはそのような人格たらしんことを求めて努力する人の意味である。

仕事=稼ぎ+務め

■ 寺中構想とはなにか？

- 1、戦後の民主主義をどう定着させ理解させるか。（自治）
- 2、疲弊・荒廃した地域産業をどう復興させるか。（生活再建）
- 3、地域の文化をどう掘り起こし、新しい地域の文化として根付かせていくか。（福祉と連帯）

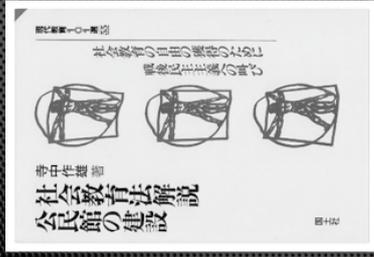
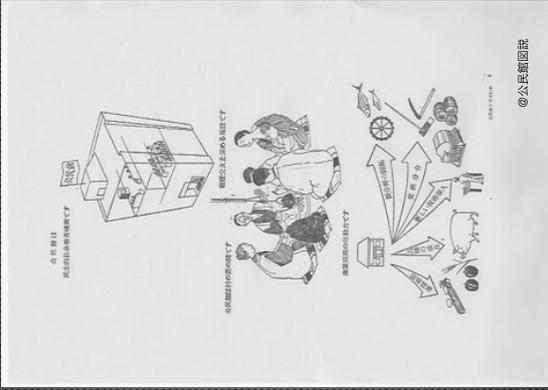
21世紀という新しい時代をデザインしていくための日本の地域民主主義をどう再興させるか。大企業中心でグローバル化した中で、地域の中で生きていく新しい産業のあり方は一体何なのか。無縁社会が社会的課題になっている時、朝顔翁を全てなくしてしまったような人々もいる中で、どうやって支え合っていく文化をつくるのか。

地域住民が立ち上がるべき課題。

行政の施策を待っているのは、いつまでたっても解決できない

主体形成と共同学習

■ なぜ公民館が生まれたのか？



文部省公民教育課長・寺中作雄 著

寺中構想

■ 地域づくり（避難所運営）と社会教育

人づくりをとおして、地域を耕していく

「交流の場の提供」と「自治活動の促進」



まさに・・・

地域力を高めていく取り組み=社会教育

いるんな「まちづくり」があるもんだ。

- ・ある村長さんのことば
- ・田んぼの博物館
- ・地域の「お茶の間」サロンの展開・・・新潟県
- ・生涯学習の道路
- ・一枚の絵事業
- ・親の背中を見るツアー

まちづくりというけれど、何に向かっ
て進むの??

一人ひとりが今日からできること
アンテナを高く!

雑誌の見出しっておもしろい

地域でいまなにが話題ですか?

福島復興公民館大学の取り組み

第二次世界大戦後の荒廃した日本と、現在の東日本大震災と原発事故に打ちひしがれている福島の状態を重ね合わせ、戦後、寺中構想により日本中に設置された『公民館』の存在意義を今こそもう一度考えようという取り組みである。

第1回福島復興公民館大学のキックオフイベントが開かれたのは、2015年3月22日の広野町公民館・・・県内の仲間たちにはもちろんな、北海道、横浜からも仲間が集い語り合った。
第2回が、会津坂下町で、第3回目が須賀川、第4回は白河で開催された。県内外、会津の各地で、公民館・社会教育の仲間たちが何を考え、どこに向かおうとしているのか・・・つながりあい、額を寄せ合ってこそ見えてくる、公民館の明日・・・それは、私たちのふるさとを「ふるさと」として伝えていくためにある。

第5回 福島復興公民館大学 in ふくしま

6月24日(土) 25日(日) 開催!

会場：福島県南相馬市会津若松市立公民館(会津若松市)

6月24日(土) 9時～13時30分
6月25日(日) 9時～13時30分

① 公民館の歴史
② 復興公民館大学の意義
③ 復興公民館大学の取り組み
④ 公民館の未来

【お問い合わせ】
福島復興公民館大学事務局
〒965-8501 福島県南相馬市会津若松市立公民館(会津若松市) 2階
TEL: 0246-22-1111(受付時間: 午前9時～午後5時)
FAX: 0246-22-1112
E-MAIL: fukushima@fukushima-citizens-hall.jp

下伊那テラーゼにふれて

いま、改めて公民館の役割を考える
2015.10.24



報告集

主催：下伊那テラーゼ公民館教育委員会事務局
共催：社会教育・生涯学習センター
協賛：県庁の公民館連絡会、下伊那郡町村公民館連絡会
実行委員：須賀川、阿賀野村公民館

下伊那テラーゼをなぜ学ぶ必要があるのか
下伊那テラーゼは、社会教育職員論ではなく、
社会教育実践論だ!

総括講演 島田修一さんのことば

「学び」とは何が

「学び」というものは、学ぶ人がつくるもの!

自分にとって必要なものを「考える力」をわがものとす」のが学びではないか。だから学びというのは、学ぶ人間が別にいるのではなくて自分を教育し高める自分がいること。だから学習主体ということを使う。学習主体から自立性を持つてというけれどもそれは自己教育主体でなければいけない。「学習主体から教育主体へ」、「学びの受け手から学びのつくり手へ」。

エピソード(社会教育のめざす姿)

日本の小さな村々に
人たちが

小さな小さな

よるこびを追っかけて生きている

ああ 美しい

夕方の家々の窓の明かりのようだ

榎 橋十

公民館での実践！

これからも、いまからも
ともにやっつけていきましょう！！





◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dashed lines.



インタビュー・ダイアログ

「持続可能な地域づくり・人づくりに 向けた公民館の可能性は？」

コーディネーター

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授 **天野 和彦 氏**



登壇者

大牟田市市民協働部生涯学習課 主査 **前原 雄樹 氏**

福岡県大牟田市在住。平成4年に大牟田市役所に入庁し、平成25年度から28年度にかけて市内2箇所の地区公民館館長に就任。現在、生涯学習課勤務。平成17年に社会教育主事講習修了。

【テーマについて】

地区公民館の真骨頂は創設時より『地域づくり・人づくり』にあると思います。公民館職員は、地域をよく知ること、地域の人と人をつなぐことはもとより、地域住民の皆さんが自ら“主体的”に活動に取り組んでいただくためのきっかけづくりや支援の在り方について考える必要があるように思います。



柳川市立垂見校区公民館 館長 **川口 千利 氏**

福岡県柳川市三橋町生まれ。昭和45年三橋町役場（現柳川市役所）入職。社会教育課にも勤務し、平成22年3月退職。23年4月から自治公民館長を務め、25年度から校区公民館長として勤務。

【テーマについて】

地域の人々の顔が見え、たくさんのつながりが生まれ、コミュニティの輪が広がっていくことを目指し、「出会い」「ふれあい」「学び合い」を合い言葉に、事業を展開しています。また、公民館が地域の人たちのもつ能力発揮の場にもなり、地域・家庭・学校が連携を図りながら一体となって住みよい地域にしていけるよう心がけています。



宗像市吉武地区コミュニティ運営協議会 事務局長 **高山 國敏 氏**

福岡県宗像市生まれ。福岡県農林水産部の職員を退職後、平成25年4月より、吉武地区コミュニティ運営協議会の事務局長として勤務。

【テーマについて】

高齢化、少子化が進む地域において、地域と小学校の密接な連携の下、寺子屋事業や学童保育所運営など、子育て支援活動を実施しています。緊急性や優先順位の高い地域の課題から取り組むことで、多くの住民の参加が得られ、関心も高まると考えます。





福岡県公民館大会年表

大会	月日	開催地	大会主題	全体討議テーマ
第1回	昭和28年 1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年 4月	八幡市		
第3回	昭和29年 11月19日 ～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す	公民館の振興はいかにあるべきかー社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年 11月21日 ～22日	大牟田市 中央公民館	戦後10年間の公民館活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す	赤字財政下の公民館をいかに振興するか
第5回	昭和31年 10月25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す	公民館の現状はこのままでよいか
第6回	昭和32年 10月19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる	新生活運動の反省と今後の推進方策について
第7回	昭和34年 11月21日 ～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年 10月3日 ～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に則して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいか
第9回	昭和36年 6月3日 ～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいか
第10回	昭和37年 5月13日 ～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいか	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいか
第11回	昭和38年 5月25日 ～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくらう	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか
第12回	昭和39年 5月31日 ～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいか	公民館への期待ーとくに市民性の向上を中心としてー
第13回	昭和40年 5月23日 ～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か
第14回	昭和41年 5月24日 ～25日	田川市体育館	住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう	住民の創造的生活の確立のために(分科会テーマ)
第15回	昭和42年 5月14日 ～15日	豊前市市民会館	今日の生活を見つめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習(記念講演)
第16回	昭和43年 5月28日 ～29日	北九州市 八幡市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題(記念講演)
第17回	昭和44年 5月31日 ～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割(記念講演)
第18回	昭和45年 5月26日 ～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう	公民館の理想と現実
第19回	昭和46年 5月25日 ～26日	飯塚市 文化センター	住民の学習に応えられるための公民館の施設設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を育てるための教育をすすめて	岐路にたつ70年代の選択(記念講演) 公民館の理想と現実

大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第20回	昭和47年 7月6日 ～7日	行橋市市民会館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考え、また新しい地域社会（コミュニティ）形成のための公民館活動のあり方を考える		明日を創る公民館の新思路 (記念講演)
第21回	昭和48年 5月30日	福岡市立少年 文化会館ホール	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求に こたえるための公民館の役割 (シンポジウム)
第22回	昭和49年 6月6日	八女市 市町村会館	魅力ある公民館の創造と前進	実践発表 対面討議 全体討議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年 6月1日	直方市民会館	豊かな地域づくりをめざす公民館 の役割	シンポジウム 講演	コミュニティの形成と公民館 これからの公民館経営
第24回	昭和51年 6月3日	豊前市民会館	住民の生活を高めるための公民館 事業のあり方を考える	パネル討議 講演	住民の求めに応ずる公民館事業 のあり方 住民の生活を高めるための公民 館事業
第25回	昭和52年 9月22日	北九州市小倉南 市民センター	住民の学習要求に応えるための公 民館のあり方を考える	分科会(9) 講演	これからの社会教育
第26回	昭和53年 7月5日	太宰府勤労者 体育センター	地域の住民の学習要求に応えるた めの具体的な公民館のあり方を考 える	分科会(8) 講演	地域と社会教育
第27回	昭和54年 7月3日	大川市 文化センター	多様化する地域住民の学習要求に 応えるための公民館のあり方を考 える	分科会(8) 講演	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年 6月12日	中間体育 文化センター	地域住民の実際生活に即した公民 館のあり方について	パネル討議 講演	地域住民の実際生活に即した公 民館の在り方について
第29回	昭和56年 6月3日	行橋市民会館	公民館が果たすべき今日的意義と 役割を考える	講演 シンポジウム(3)	青少年をとりまく諸問題に対処 する社会教育
第30回	昭和57年 6月9日	北九州市 小倉市民会館	住民が主体となる公民館の在り方 を考える	講演 分科会(8)	住民が主体となる公民館の在り 方を考える
第31回	昭和58年 8月9日	福岡県立福岡勤労 青少年文化セ ンター	「住民の実際生活に即した公民館 の役割と機能を考える」-今、公 民館は地域住民とともに何をしな ければならないか-	講演 分科会(9)	「現代の青少年問題を考える」 -思いやりのある社会づくりの ために-
第32回	昭和59年 6月22日	甘木文化会館	生涯教育の視点に立った公民館経 営の在り方を考える	講演 パネル討議(3) 分科会(2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年 6月13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる公民館 のあり方を考える	講演 分科会(8)	生涯教育の推進と公民館の役割
第34回	昭和61年 5月30日	豊前市体育館	生涯学習を推進する公民館の役 割・機能を考える	講演 分科会(7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年 8月6日	北九州市立 小倉市民会館	生涯学習を推進する公民館の役 割・機能を考える	講演 分科会(7)	「豊かな心を育てる地域社会の 役割」
第36回	昭和63年 7月27日	福岡県立福岡勤労 青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざす公民 館のあり方を考える	講演 分科会(7)	「生涯学習社会における公民館 の役割」
第37回	平成2年 11月21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民館のあ り方を考える	講演 シンポジウム(1) 分科会(4)	「生涯学習社会における公民館 の役割」
第38回	平成3年 7月31日	直方市民会館	生涯学習時代に対応する公民館活 動のあり方	講演 分科会(5)	地域に根ざした公民館活性化へ の提言



大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第39回	平成4年 7月30日	久留米市 石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	学校週5日制…公民館はどうする!!
第40回	平成5年 9月17日	大牟田市 大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	ボランティアの心
第41回	平成6年 7月29日	田川市 田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館の役割
第42回	平成7年 8月3日	行橋市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	公民館を元気に未来的にしよう!! - “愛されるため”の魅力をアップ…インテリジェント化-
第43回	平成8年 8月7日	北九州市立 小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館 - 粋な生き方と学業国づくり -
第44回	平成10年 8月20日	志免町立 町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	公民館のこれから - 社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために -
第45回	平成11年 7月30日	中間市 なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年 7月28日	久留米市 石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える	講演 分科会(5)	新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐって～
第47回	平成13年 7月27日	筑後市 サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む公民館活動の新たな戦略	講演 分科会(5)	家庭教育を支援する公民館活動のあり方
第48回	平成14年 8月2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える	講演 分科会(5)	社会教育の出番は、“今”～完全学校週5日制に対応した公民館活動のあり方～
第49回	平成15年 7月23日	荏田町立 中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな役割を探る	講演 分科会(3)	メディアから見た地域拠点としての公民館の役割
第50回	平成16年 8月31日	北九州市 北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～	講演 分科会(3)	「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～
第51回	平成18年 8月3日	宗像市 宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の在り方	講演 シンポジウム	地域へのメッセージ・会社の人から社会の人へ少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年 8月8日	直方市 ユメニティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」- 子供の生活リズム向上「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動-	講演 シンポジウム	家庭の教育力を高めるために、社会教育の力を公民館の家庭教育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年 8月1日	朝倉市 サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」	講演 シンポジウム	「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～ 「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」
第54回	平成21年 8月1日	柳川市 柳川市民会館	「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」	講演 シンポジウム	「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」 「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」
第55回	平成22年 8月4日	田川市 田川文化センター	「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」	講演 シンポジウム	「地域づくり・まちづくりと公民館の現代的役割」 「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」
第56回	平成23年 8月4日	行橋市 行橋市民体育館	「新しい公共」とこれからの公民館	講演 シンポジウム	「『新しい公共』とこれからの公民館」 「これからの公民館運営と役割」
第57回	平成24年 8月2日	北九州市 八幡市民会館	「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けて	講演 インタビュー・ダイアローグ	「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」 「元気の出るまちづくり」

大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第58回	平成25年 8月29日 ～30日	福岡国際会議場 福岡サンパレス 福岡市民会館	「活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして」～自立・協働・創造の実現は公民館から～	分科会(7) 記念講演	※第64回九州地区公民館研究大会（福岡大会を兼ねる）
第59回	平成26年 7月31日	春日市 クローバープラザ	「地域の課題解決や活性化に向けた公民館活動のあり方」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の活性化に向けた公民館の役割」
第60回	平成27年 8月4日	岡垣町 岡垣サンリーアイ	「地域に活力を生み出す公民館の役割」	講演 シンポジウム	「活力を生み出す公民館」
第61回	平成28年 8月10日	久留米市 久留米シティプラザ	「ひとを育て、まちを育む公民館力」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の課題解決に向けて、『公民館』はどうあるべきか？」



平成29年度 (平成29年5月1日～平成30年5月1日)

公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定める「公民館の目的」に寄与する施設等で公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたものは、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポート

1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

保険

- 公民館行事参加者のケガを補償
- 公民館利用者のケガを補償
- 行事往復途上のケガを補償
- 行事の事前練習や事前準備、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

見舞金制度

- 急性疾病に、死亡弔慰金、入院見舞金をお支払いします。
- 特定災害により公民館建物やその収容動産に損害が発生した場合に、見舞金をお支払いします。

【補償例】



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)】

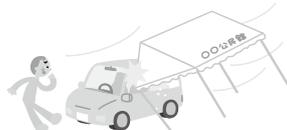
保険

- 公民館の施設・設備等*の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合に補償

*公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

*施設にある昇降機(エレベーター、エスカレーター)の所有、使用、管理に起因する賠償責任も含まれます。

【補償例】



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償

【普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約)+見舞金制度】

保険

- 公民館事業や業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

見舞金制度

- 公民館事業や業務に携わる方の病気や業務外のケガ、業務中の地震によるケガに死亡弔慰金や入院見舞金をお支払いします。

【補償例】



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

公民館総合補償制度の特徴

(1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する『見舞金制度』に『保険』を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

(2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要です。うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

(3) 保険料の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償には、団体割引25%、過去の損害率による割引25%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『平成29年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパン日本興亜までお寄せください。

■引受保険会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 営業開発部第三課
 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 TEL 03-3349-3820 FAX 03-6388-0157

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)
エコー総合補償サービス株式会社
 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL : 0120-636-717(通話料無料)
FAX : 0120-226-916(通話料無料)

福岡県公民館連合会ホームページ

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や公立公民館一覧、県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。

福岡県公民館連合会ホームページ

<http://www.fukuokaken-kominkan.jp/>



YahooやGoogleなどの検索サイトから「福岡県公民館連合会」と入力してもご覧になれます。

○「お知らせ」に新着情報を掲載していきます。

○「福岡県公民館大会誌」にこれまでの大会誌を掲載しています。



県公連と県内公民館を結ぶ情報誌です。

年3回ホームページ上で発行しています。(7月、11月、3月)

○市町村のページ特集
「特色ある公民館活動」

○こちら県公連

定期更新(年3回)以外に、新着情報の随時更新を行います。
ぜひ、ご覧ください。



パネコ

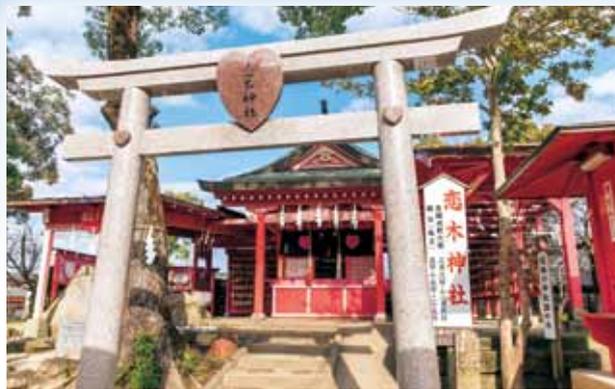
ポネコ

筑後市イメージキャラクター

HAWKS
ベースボールパーク筑後



恋の木神社
(縁結びの神様)



船小屋鉱泉場



筑後市イメージキャラクター
はね丸